

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県国民健康保険野上厚生病院組合 国保野上厚生総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	訓	教へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	18,938	-	第2種該当	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
99	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	-	199
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
99	-	99

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の関係・ネットワークを基に）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

和歌山医療圏のへき地拠点病院として過疎地における一般医療の提供に取り組んでいる。また、周辺の二次救急も受け持っている。当院の周辺地域には、民間病院と公立病院があるが、それぞれの得意な分野での棲み分けを図っている。当院は特に回復期機能を担っており、また、海南海草地域で唯一の精神科を有する病院として患者をケアする施設が充実している。また、各種介護保険事業も積極的に取り組んでおり、地域住民の医療・保健・福祉に貢献している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

回復期を中心とした病棟に再編したことで、安定した収益・稼働率の確保が可能となったことで、医業収支比率、修正医業収支比率、病床利用率とも、令和4年度から大きく改善されており、類似病院平均値を見ても大きく上回っている。経常収支比率も100%を上回っており、健全性・効率性が確保された病院経営ができている状態にある。

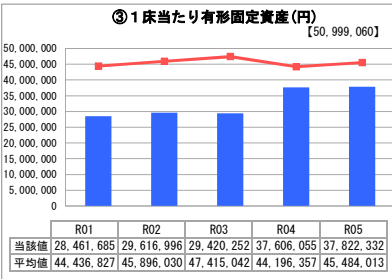
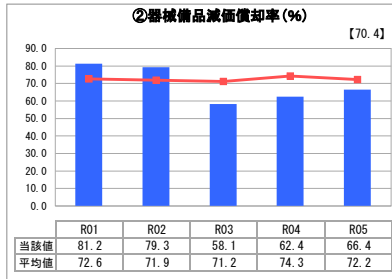
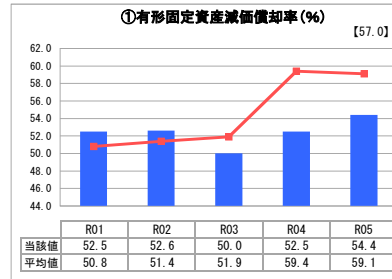
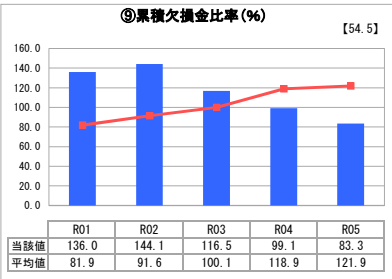
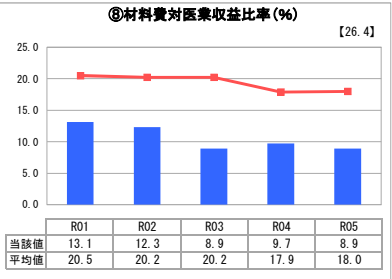
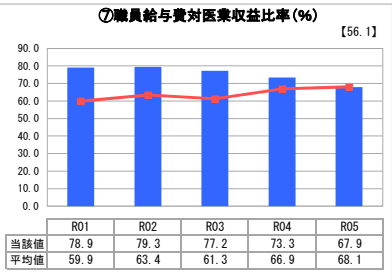
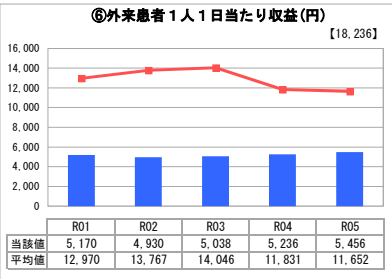
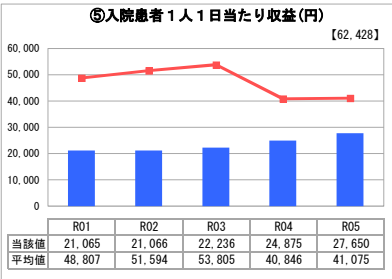
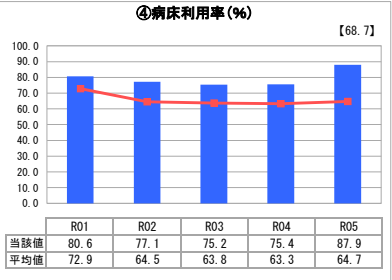
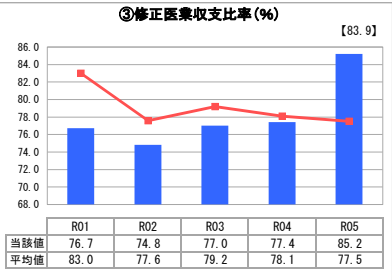
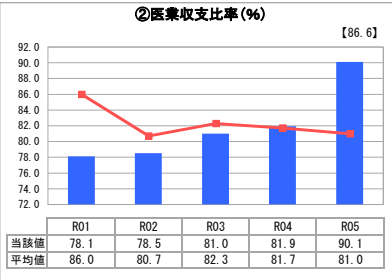
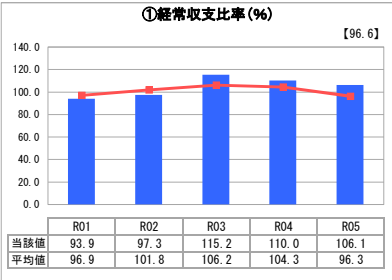
2. 老朽化の状況について

老朽化については、令和3年度以降、有形固定資産減価償却率・器械備品減価償却率ともに類似病院平均値を下回っており、計画的で適正な設備投資ができている状態にあると考える。ただ、病院建築後25年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、今後は施設の計画的な改修に取り組む必要がある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症への対応が大きく転換した年であった。また当院は病棟再編を行ってから初めての年度決算であった。コロナ関係補助金の大幅な減少があったが、病棟再編が医業収益の大幅な改善につながり令和3年度から3期連続での黒字決算となった。しかしながら費用面では、世界的な物価高騰、人件費の上昇等により費用増が続いており厳しい病院経営には変わりない中で、今後どのように安定した経営を継続していくかが課題になると考える。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。